

# 地域連携推進センター ニュースレター 〈第43号〉

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

## はじめに

### 土佐まるごと社中 プレゼン大会 開催

土佐まるごと社中は、高知における産学官民連携ネットワークの拠点として平成24年6月16日に設立されました。様々なメンバーの相互のコミュニケーションを深めるため、偶数月の第1水曜日の夜に定例会を開催し、いくつかの研究会も立ち上がっています。

今回、第14回目の定例会として平成26年12月6日(土)にプレゼン大会を開催しました。詳細は産学官民連携推進部門のページをご覧ください。

土佐まるごと社中の取り組みにご関心のある方は、土佐まるごと社中事務局(地域連携推進センター)までご連絡下さい。

## 目次

### p1 はじめに

### p2 産学連携推進部門

Topic1. 物部川流域を元気に！

物部キャンパスフォーラム

Topic2. 農学研究を地域貢献にどう活かせるか？

～農学部門アカデミアセミナー～

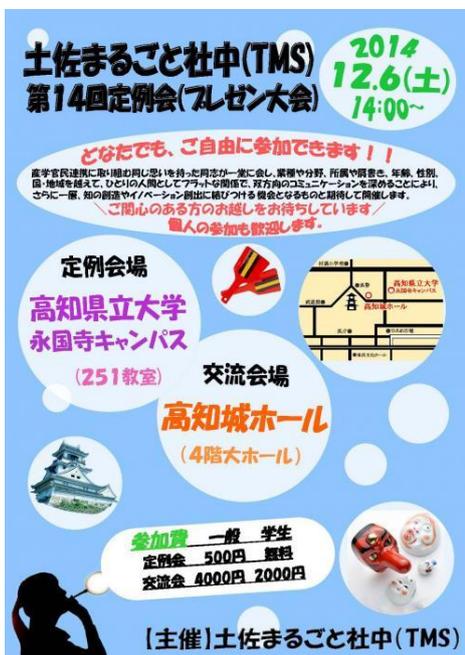
### p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 土佐まるごと社中(TMS)第14回定例会(プレゼン大会)開催報告

Topic2. 競争的資金「A-STEP」採択情報

### p4 知的財産部門

Topic1. 四国産学官連携イノベーション共同推進機構  
～産学官連携支援マッチング情報システム「MATCI(マッチ)」のご案内～



**土佐まるごと社中(TMS) 第14回定例会(プレゼン大会)** **2014 12.6(土) 14:00～**

どなたでも、ご自由に参加できます！！

産学官民連携に取り組む思いを持つ同志が一堂に会し、業種や分野、所属や所属先、年齢、性別、国・地域を越えて、ひとりの人間としてフラットな関係で、互方向のコミュニケーションを深めることにより、さらに一歩、知の創造やイノベーション創出に結びつける機会となるものと期待して開催します。<br>「ご関心のある方のお越しをお待ちしています」<br>個人の参加も歓迎します。

**定例会場**  
高知県立大学 永国寺キャンパス (251教室) **交流会場**  
高知城ホール (4階大ホール)

**参加費** 一般 学生  
定例会 500円 観覧  
交流会 4000円 2000円

[主催]土佐まるごと社中(TMS)

## Topic 1. 物部川流域を元気に！ 物部キャンパスフォーラム

12月13日、物部キャンパス(農学部、大学院総合人間自然科学研究科農学専攻(修士課程)及び黒潮圏総合科学専攻(博士課程)、海洋コア総合研究センター、総合研究センター(遺伝子実験施設))で日頃行っている教育研究成果を地域の皆様に紹介し、交流を深めることを目的に、物部キャンパスフォーラムが開催されました。

今回は、物部川流域の現状と産業の活性化の取り組みについて取り上げ、物部川流域をもっと発展させていくためにはどうしたらよいのか、大学としてどのようなバックアップができるかを中心に議論されました。

「高知大学の地域活性化への取り組み ～高知大学インサイド・コミュニティ・システム～」

高知大学 地域連携推進センター 吉用 武史 氏

「物部川流域の地域づくり」

高知県 産業振興推進部 地域産業振興監 國沢 一之 氏

「森と木質バイオマスの有効利用で地域を活性化」

高知大学 自然科学系農学部門 准教授 鈴木 保志 氏

「物部川のアユを増やす取り組み ～天然アユの増殖と人工種苗の活用～」

高知県 内水面漁業センター チーフ 岡部 正也 氏

「農業基盤の整備が物部川流域を元気にする」

高知大学 自然科学系農学部門 准教授 佐藤 泰一郎 氏



## Topic 2. 農学研究を地域貢献にどう活かせるか？ ～農学部門アカデミアセミナー～

高知大学では文部科学省「地(知)の拠点整備事業」により、県内各地域に4名の地域コーディネーター(University Block Coordinator: UBC)を常駐させています。12月9日、農学系教員の研究を地域貢献に更に活かすため、UBCとの連携を意見交換することを目的として「農学部門アカデミアセミナー」が開かれました。

「地域における知の拠点 ～高知大学インサイド・コミュニティ・システム～」 吉用 武史 特任講師

「施設園芸における土着天敵を利用した害虫防除」 荒川 良 教授

「地域農産物の養殖魚飼料への利用」 深田 陽久 准教授

「集落での活動と参入の条件」 松本 美香 講師

UBC(赤池信吾、大崎 優、岡村健志、梶英樹)の活動報告、農学系教員へのリクエストなどグループワーク、UBCと農学系教員間の意見交換・情報共有

## Topic 1. 土佐まるごと社中(TMS)第14回定例会(プレゼン大会) 開催報告

第14回土佐まるごと社中定例会(プレゼン大会)を平成26年12月6日(土)14時より高知県立大学永国寺キャンパスにて、18時半より「交流会」を高知城ホールにて開催しました。独立行政法人農業環境技術研究所 西森 基貴 様、岩手大学 清水 健司 様に基調講演を行っていただいた後、13名の方がプレゼンを実施。プレゼン大会終了後の交流会では、高知県外から参加された方もおられ、活発な意見交換が行われました。

【参加者数】 プレゼン大会:約80名

なお、TMS は高知大学が事務局となり、毎月、第2水曜日の夜、産学官民の交流活動を実施しております。



## Topic 2. 競争的資金 「A-STEP」採択情報 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

### 【FSステージ 探索タイプ】

医学部「宇高 恵子」教授及び農学部「市浦 英明」准教授が、平成26年度 A-STEP「フィージビリティスタディ(FS)ステージ」探索タイプ」に採択されました。

「フィージビリティスタディ(FS)」ステージは、【起業挑戦】、【産学共同促進】、【実用化挑戦】各ステージへの展開を目指すシーズ候補に対し、技術移転の可能性探索、企業ニーズにつながるシーズとしての可能性の検証、またはシーズを基とした起業の可能性の検証を行うプログラムで、「探索タイプ」は、産業界への技術移転の可能性を探索すべく、研究開発を支援するとともに、産学連携に向けたコーディネート活動の促進支援が目的とされています。

採択課題名

- 宇高 恵子「悪性腫瘍に対する Th および CTL 誘導型ワクチンの前臨床試験」
- 市浦 英明「界面重合反応を活用した剥離紙のいらぬ粘着紙の開発」

研究成果展開事業

A-STEP

研究成果最適展開支援プログラム

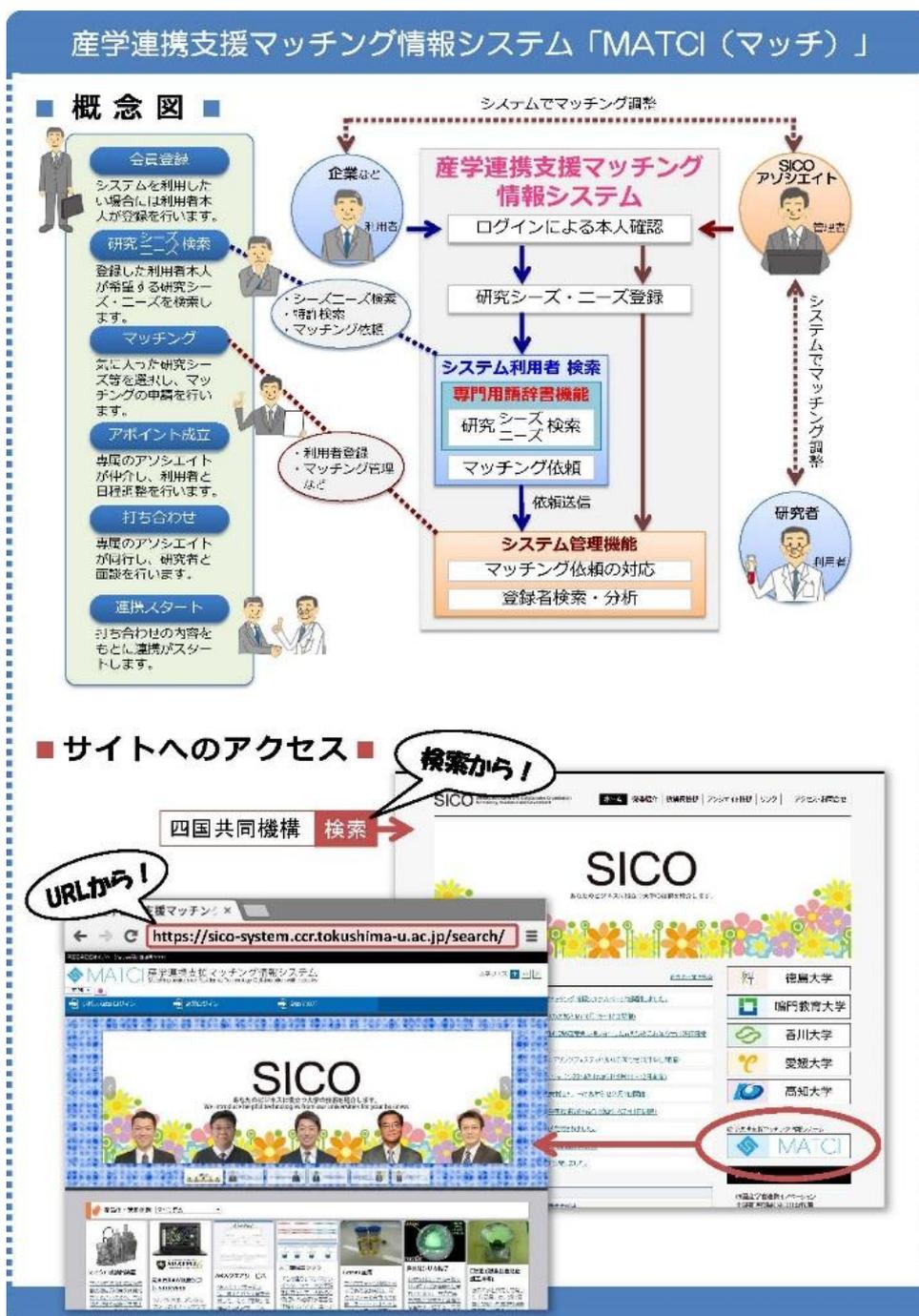
Adaptable and Seamless Technology transfer Program through targetdriven R&D

## Topic 1. 四国産学官連携イノベーション共同推進機構(SICO) ～産学連携支援マッチング情報システム「MATCI(マッチ)」のご案内～

SICO では、5大学(徳島大、鳴門教育大、香川大、愛媛大、高知大)の枠を超えて産学官連携活動を行うことで、新たな技術や研究成果を欲している企業と大学をつなぎ、新事業を創出することで大学の知財を活用し地域社会の発展への貢献を目指しています。

その一環として、MATCI を作成し運用を開始しました。MATCI は大学研究者の成果を集約し、企業が求める研究技術情報の検索を容易にすることで技術マッチングを図り、新規事業展開や製品開発等に結び付けることができる Web システムです。

企業の方々が求める情報がきっとあるはずです。是非、アクセス(<http://sico.jp/>)してください。なお、データは、随時追加、更新します。



【MATCIに関する問合せ先】

高知大学

地域連携推進センター

四国共同機構サテライト

オフィス 担当: 下方

[a-shimokata@kochi-u.ac.jp](mailto:a-shimokata@kochi-u.ac.jp)

TEL:088-844-8918

FAX:088-844-8556